

新報

再び朝和を発す

加州飯還特別列車

発車時間

来る九月廿八日加州飯還特別列車が再び朝和から出る者の確答がロサンアンセル氏宛一昨日到着した。

朝和折氏協者が希望を折返つて表明し協力して月の達成に進む局に今回の厚意及戦時交通

而たこれ特別列車を採る可能となつたか、折返つて署名する事により全飯還系の便宜は擴大する此の英に私は厚意の感謝をする。ロサンアンセル氏宛は発着した。申込は月曜迄



九月廿八日(金)朝

米軍多数の人々の中心にみう金銀があり九月廿四日(月)迄之を受付けるが、右は地対に交付けない理由は、米軍協会の作製に最少四日を要する局である。アライズ戦後係は発着した。

発車時間の注意

列車は廿八日午前八時到着直ちに東京行列車する。列車は食堂一輛がルマシニ編組一輛がフルマン乗客は従前通り。義勇兵は許可あるに限る。

バグゲイグ

バグゲイグのロツクアワフは発車時日行るせ七日より始める。故にバグゲイグは道くの道路に出して攻めたい。バグゲイグの間に置く場合見送る事もある。

出迎へトラウク

乗客は指定された下ろすに、乗つて来るか、いよいよと、種々混雑がある。洗車に乗る時に充分なワキ出さなくならぬ。

近き雑話に

東京の音と物語

第二次世界大戦中最も華やかで、その一つに宣伝戦があつた。彼乙から英清放送反法けた。ポーポー御は目下英園で裏切者として捕へらるゝ。彼は不國生此の英國市民である。日赤放送は特種な魅力ある青で活躍した。

同情ある

新民主に訴ふ

途々七朝夕冷れ、自身は知る味、今様に病室に閉むる病人の起臥する病院のホイラーメシが三名、息へ用玉若不足り、為め今の人で一人宛十古付、同達後に病つてゐる。状況、同情に値す。歎くは同情ある新民主の奮起を促す。早刻病院のホイラー、場を中出らるるよう、望むものである。

所起にも知己あり

皇軍英の爲辨するに

政府の戦野に戦ひ、日系兵の戦闘のり、を實際に知る一執持インテレン青年、グイン、ス、ピ、エル、軍、曹は彼の敬愛する酋長、キツフ、ステ、ラム、セ、宛に一書を送り、日赤兵の集高なる精神行動を稱揚した。日赤守氏、他、誰にも買けぬ。立派な市民である。酋長は、語り、私の祖先は、何万年前から

先生を招聘

朝和学校の教師と名を足非求めたい。所収の意見は一日でも教育を怠らぬ。是非、採(本社)に

ら此處に後、私は米國人である。しかも日赤人は、私に少しも宥めぬ。立派な米國の酋長に戦ひ、勇士に侍従し、よはならぬ。日本を愛する人は、日本へ送れ。ばい。しが、公正を信する人、日赤人を正しく取り扱ふべきである。ピ、エル、軍曹、一、折穿の、日赤兵隊、除、池、幸、を、活、ん、だ、此、の、旗、軍、の、ヘ、ッド、は、許、り、大、戦、で、後、方、に、居、る、人、に、違、ひ、ない、貴、下、も、知、る、如、く、日、赤、兵、は、最、前、線、に、立、つ、て、居、る。

日赤兵の戦争目的は、我々と同じだ。起のに、彼等だ。竹園に待避を受けぬ。は!! 私より、は、彼等、は、主、張、を、失、士、私、は、常、に、彼、等、を、導、致、し、て、居、る。

以上は、オレ、ロ、ニ、ロ、イ、ナ、ル、より、私、載、す。

外部定住欄

セントルイス市に再転任せる日系人の中より十五名の委員を擧げWRの閉鎖に伴ひ今後同市に再転住せらるる人達の便宜を計る事になつた。口より出身者中左記の二世が委員に選ばれてゐる。中野スエウードロ、クイ天橋下、業港、天嶋、フレッド、香川、ウイリ、ア台、ロ、グ、イ、

謝和よりセントルイス市に再転住せる大島フレッド君。一、グ、イ、は今回米國政府文官試験に最優等の成績を合格九月十日より聖路易地方土木課に勤務する事に決定さる。

ワツソン、ブル、にホス、テ、ル、開、く、元、ア、ス、ビ、タ、リ、ア、ン、教、会、を、ク、リ、バ、リ、ル、及、エ、ル、

エ、ス、テ、ロ、街、角、の、モ、ン、ト、レ、ー、ホ、ス、テ、ル、は、八、月、廿、二、日、淺、野、牧、師、及、眞、侍、氏、の、共、同、管、理、下、に、閉、鎖、し、た、宿、泊、料、は、大、人、有、職、者、七、十、五、仙、無、職、者、五、十、仙、十、才、以、下、は、半、額、で、あ、る、食、事、供、給、に、近、く、費、光、さ、れ、る、宿、泊、期、間、は、最、長、三、週、間、で、唯、一、の、例、外、は、家、を、見、つ、け、る、事、の、出、來、ぬ、人、に、あ、る、但、し、之、等、の、人、も、WR、民、衆、運、送、事、務、所、に、許、可、を、願、出、る、必、要、が、あ、る、定、員、廿、五、名、。

人、種、俾、見、分、子、に、対、し、て、C、I、O、は、解、雇、を、要、求、す、た、ク、ト、ン、市、電、報、に、依、る、と、C、I、O、労、働、組、合、の、幹、部、は、最、近、次、の、林、三、声、明、を、登、表、し、た、即、ち、日、系、市、民、の、社、會、者、に、對、し、て、種、種、の、差、別、を、し、た、席、に、依、つ、て、C、I、O、組、合、か、ら、

除、名、さ、れ、た、ア、ル、バ、ボ、ー、ン、並、び、C、A、シ、ミ、ト、なる、両、名、は、ス、タ、ク、ト、ン、の、ウ、エ、ア、ハ、ウ、ス、に、於、ける、仕、事、を、止、め、さ、せ、ら、れ、る、と、ス、タ、ク、ト、ン、地、方、の、組、合、代、理、人、は、領、合、契、約、の、規、定、に、依、つ、て、彼、等、兩、名、を、解、雇、す、べ、く、雇、主、に、對、し、て、正、式、の、通、知、を、発、送、せ、ら、れ、る、筈、で、あ、る、と、語、つ、た、り、と、

ワツソン、少、佐、渡、日、フ、オ、ー、ト、ス、ネ、リ、リ、ン、グ、日、本、結、核、校、卒、業、の、日、系、兵、士、が、今、同、校、々、長、ホ、ル、ト、エ、ン、シ、エ、ト、佐、と、共、に、日、本、々、土、上、陸、ア、メ、リ、カ、軍、に、属、し、渡、日、す、る、こ、と、に、な、つ、た、と、登、表、さ、る、。

同、少、佐、は、ス、ネ、リ、リ、ン、グ、日、本、結、核、校、卒、業、生、に、関、し、て、次、の、如、く、語、る、

除、名、さ、れ、た、ア、ル、バ、ボ、ー、ン、並、び、C、A、シ、ミ、ト、なる、両、名、は、ス、タ、ク、ト、ン、の、ウ、エ、ア、ハ、ウ、ス、に、於、ける、仕、事、を、止、め、さ、せ、ら、れ、る、と、ス、タ、ク、ト、ン、地、方、の、組、合、代、理、人、は、領、合、契、約、の、規、定、に、依、つ、て、彼、等、兩、名、を、解、雇、す、べ、く、雇、主、に、對、し、て、正、式、の、通、知、を、発、送、せ、ら、れ、る、筈、で、あ、る、と、語、つ、た、り、と、

ワツソン、少、佐、渡、日、フ、オ、ー、ト、ス、ネ、リ、リ、ン、グ、日、本、結、核、校、卒、業、の、日、系、兵、士、が、今、同、校、々、長、ホ、ル、ト、エ、ン、シ、エ、ト、佐、と、共、に、日、本、々、土、上、陸、ア、メ、リ、カ、軍、に、属、し、渡、日、す、る、こ、と、に、な、つ、た、と、登、表、さ、る、。

同、少、佐、は、ス、ネ、リ、リ、ン、グ、日、本、結、核、校、卒、業、生、に、関、し、て、次、の、如、く、語、る、

同、部、隊、の、使、命、は、人、種、の、相、違、か、ら、起、る、不、詳、事、を、防、ぎ、人、類、永、遠、の、平、和、建、設、に、盡、さ、ん、と、努、め、て、あ、る、筈、と、佐、は、十、八、年、間、同、部、隊、に、任、務、立、教、大、學、に、教、鞭、を、採、つ、て、居、ら、れ、た、。

ロ、ー、ワ、ル、に、も、日、本、學、校、の、生、徒、募、集、に、來、り、た、。

ミ、シ、ガ、ン、農、園、人、員、募、集、

ミ、シ、ガ、ン、州、デ、カ、タ、ラ、の、ハ、リ、ー、ベ、ツ、カ、ー、農、園、主、イ、シ、ミ、大、江、氏、來、朝、人、員、募、集、中、に、あ、る、セ、ロ、リ、一、就、勤、者、四、十、名、が、入、用、で、あ、る、が、此、の、任、事、後、は、米、國、何、れ、へ、行、く、に、も、汽、車、賃、を、ベ、ツ、カ、ー、氏、が、仕、拂、ふ、と、勿、論、此、の、中、に、加、州、も、含、ま、れ、て、居、る、。

借、金、は、食、堂、付、か、一、時、間、五、十、仙、大、江、氏、は、家、族、の、定、住、の、相、談、に、も、応、ず、る、。

同、農、園、に、は、數、百、名、の、日、系、人、が、既、に、働、ら、い、て、居、る、。詳、細、は、四、二、區、の、転、住、部、で、。

此、地、は、市、か、ら、廿、五、哩、で、沃、土、で、あ、る、。

地、主、C、G、ウ、オ、ー、カ、ー、氏、は、現、金、又、は、作、物、を、仕、拂、ひ、を、受、け、る、と、言、ふ、。附、近、に、は、日、系、農、家、が、二、軒、あ、り、よ、く、や、つ、て、居、る、と、言、ふ、。

白、系、匠、師、須、藤、氏、も、同、地、主、の、地、主、の、為、保、証、す、。せ、ん、と、て、居、る、。

イ、リ、ノ、イ、に、転、住、せ、る、人、々、

オ、二、區、よ、り、出、所、せ、る、矢、オ、川、メ、リ、ー、さ、ん、よ、り、の、便、に、依、る、と、同、家、及、安、武、家、で、は、イ、リ、ノ、イ、州、ペ、ル、の、セ、ン、ト、バ、ー、ド、ア、ベ、イ、教、會、に、成、功、的、に、定、住、し、た、と、言、ふ、。兩、家、族、は、同、じ、と、非、常、に、好、み、定、住、を、喜、ぶ、と、居、る、メ、リ、ー、及、ス、一、安、武、さ、ん、は、イ、リ、ノ、イ、W、R、A、の、援、助、下、に、家、族、を、此、地、に、呼、び、寄、せ、た、。

の、不、最、近、も、度、々、家、族、を、訪、向、じ、て、居、る、五、退、前、西、家、は、加、州、カ、ー、テ、ナ、に、住、人、で、あ、る、。

歸、還、男、子、最、初、の、ア、ラ、ス、カ、歸、還、

松、野、レ、ッ、ド、ロ、ツ、ク、之、長、は、有、名、な、四、四、二、部、隊、で、治、蹟、じ、て、朝、皇、尊、嚴、を、授、け、さ、れ、た、勇、士、で、あ、る、が、今、回、除、隊、と、な、り、日、系、除、隊、兵、と、し、て、オ、一、番、に、ア、ラ、ス、カ、に、歸、還、し、た、と、言、ふ、。

彼、の、歸、還、に、は、W、R、A、も、援、助、し、た、が、彼、は、妻、女、ワ、カ、さ、ん、と、息、子、ポ、ー、ル、君、四、才、並、び、マ、リ、ー、さ、ん、一、才、半、を、同、伴、々、方、ぶ、り、に、故、郷、に、歸、還、し、た、。

彼、の、家、族、は、永、く、ア、イ、ダ、ホ、州、ミ、ネ、ソ、ト、に、轉、住、所、に、住、み、今、回、は、る、く、ア、ラ、ス、カ、の、フ、リ、ス、ト、ル、灣、パ、イ、ロ、ツ、ト、岬、の、ホ、ム、ム、に、戻、つ、た、者、で、あ、る、と、言、ふ、。

求、人、謝、和、學、校、の、專、任、幹、事、を、求、む、希、望、者、は、

里、芋、を、求、む、

ル、イ、シ、ア、ナ、州、の、服、部、耕、造、氏、は、里、芋、種、三、百、斤、程、を、求、め、て、居、る、が、寄、却、希、望、者、は、23、區、恒、恒、川、氏、迄、

稟考へで飛ぶがみすた

芝折前に万全を期せ

WR A 館府の閉鎖に
もなかな転任者付候出レ
朝和人のり念々々々名
台比遠下し凡
旧系人の憲習に宿因性
がある、折居の序へもな
く館府から荒が如し
後存にうにかなるだろ
うなて思ふて居ると
身い月々念ふ、
朝和出身者でかかる様
過に念ひ固つて居る人が
大分あるらしい、

此の前の訓令で、現市に
飯運した連中の大部が
は周地の大農園仕事に
目的であつた、しかし到
着して見れば、連中が
由衣支助でマシナサナ
から一足先に来た人々
で、一極になり朝和連中
は、陸頭に迷つて居ると
又折号でも善いた如く
ホステルは大抵満算で

獨者高野山別院の昔は
日中は失業時代のワリ
一ミール供給折前如く
おもなく飯つた人間が
ガラ／＼してゐるらし
い、電報一本ホステルに
打つて連事も待たず鬼
が来た連中の中には
子供を抱へて、牧子五人
かベンチに、幾夜も度た
と言ふが如き事は珍ら
しくない、

ホステルは市衛生局よ
り検査されて、定算以上
は通ひ出さぬなりす、
或る軍人家族は、政府住
宅を別に飯運した、が月
下一極の店、一時ワレ
ラーへ入ルと言はれた
が、一番の視命とんが何
で、友人間がワレラーな
んかに入れるかい、とか
しくして、一と、病阿を扱つ
たかどうか知らないが

ワレラーに怪むをがへ
んせ、二女の末女は途
方に暴れ、当地駐留部迄
相扶して来たと言ふ、
斯く折前の後を見るに
後事は自ら飛める必要
がある、

ハリー大島君

元ロイカイ及朝和出身
の大島ハリー上等兵は
目下廿八区在住の母堂
とよさんを訪問中であ
る、彼は本紙英文欄ス
イツエジターとして敏
腕を揮ひ、復原集金を度
け、四四二部隊に中隊員
として、松原の山野に戦
戦九ヶ月、脚には大銃、
首収戦部、隊卒二戦場
辱等が輝いて居る、彼は
伊太利より軍用機で飯
運したものである、

ジヤフク中尾君

ジヤフク中尾君は、軍隊生
活四年半の、後目下飯省
中だが、近くオオスタービ

セ丸の子定である、彼は
妻及娘十鶴子及びピ
五人が市街、七八人住す
るのを、懐胎中である、
彼は十九百四十四年十
月迄、ルビー兵營の教
官を勤めた後、改政ボス
ビエエの他、激戦に參加
した、

彼は情熱を樹て、勇停せ
り身をワロリ、オ州テイ
コレビー十陸軍病院で
治療中である、

コーアア靴修繕所 理後折を閉鎖す

靴修繕部と理後折は、最
後まで皆様の方便を計
り、たいと思つて居る
計り、人力不足の今日
如何ともしがたく止む
を得ず、両折共今月限り
で現在お預りして居る
修繕靴を出来さ、だ、平
くお引き取りを致す、
△人負入用 本社記者
二名入用、日本法書末
人なり、誰にもよし、

噂？事實？ 四維斎川橋

最近ボストンより、履折
を訪れた人の、浩大、傲
と、振折間の、橋下に桂小
五郎式に、座を、宮むり
系人が多数に居ると、か
橋止を、赤く人、違等は、面
白半分、に石を、掛けつけ
る、之が、為に、自警、團組織
を、造つても、余り、効果、が
ないと言ふ、

同教金は、管理物の、強難
で、有名になつた、凡が、代表
者、歌名は、破折部、折の、修
理、の、飯、と、早、速、多、数、の
修、理、が、押、し、か、け、る、
一、極、に、な、つ、て、し、き、つ
た、と、言、ふ、事、際、事、加、疎、に
履折の、危険、は、甚、だ、な、
上、ら、し、い、

お、来、る、方、ら、靴、修、繕、部、及、社
会、部、に、出、頭、修、繕、部、下、淵
登、と、修、繕、部、行、か、し、か、る
後、修、繕、部、事、業、が、押、進、た

佛教會 秋季彼岸法要

廿三日(即午)二時より
二十八区仏教会にて、秋
の彼岸法要を、修、行、し、せ
ン、タ、リ、用、鎖、を、前、に、し、て
セ、ン、タ、リ、生、活、中、の、先、亡
者、連、帯、を、併、修、す、る、
説、教、は、早、島、用、教、使、担、当
の、早、島、青、の、彼、岸、会、サ、
ビ、入、は、廿、三、区、仏、教、会、に
て、午、前、九、時、半、よ、り、

古谷氏方の、亦、同、會、友
本社記者、古谷、三、平、氏、方
は、九、月、十、日、日、女、見、出
生、し、母、子、共、健、全、で、あ、る
古、谷、家、は、勿、論、村、會、一、同
難、業、に、赤、ん、で、あ、る、

東、洋、報、本、部、氏、の、在
人、負、不、足、の、本、社、に、古、谷
氏、が、家、庭、の、方、が、忙、しく
休、ん、で、お、り、に、因、り、と、
四十、区、の、東、洋、報、本、部、氏
の、社、會、カ、し、て、下、さ、し、學、
と、な、つ、て、大、い、に、助、け、
高、二、名、の、修、繕、部、を、あ、る、